

平成28年度・第45回関東高等学校選抜バドミントン大会実施要項

- 1 主 催 関東バドミントン連盟・関東高等学校体育連盟
- 2 主 管 関東高等学校体育連盟バドミントン専門部・群馬県バドミントン協会
群馬県高等学校体育連盟・群馬県高等学校体育連盟バドミントン専門部
- 3 後 援 群馬県・群馬県教育委員会・（公財）群馬県スポーツ協会・前橋市教育委員会

4 大会日程

- (1) 監督会議 平成28年12月24日（土）15時00分から
- (2) 競 技 平成28年12月25日（日）26日（月）
- (3) 表 彰 式 平成28年12月25日（日）26日（月）各種目競技終了後

5 会 場

- (1) 競 技 ALSOKぐんまアリーナ
〒371-0047 群馬県前橋市関根町800 TEL 027-234-1200
- (2) 監督会議 ALSOKぐんまアリーナ内 「ミーティングルーム 1」

6 種 目 個人対抗（男・女 各 シングルス・ダブルス）

7 競技規則

本大会実施要項及び平成28年度の（公財）日本バドミントン協会競技規則、同大会運営規定、同公認審判員規程による。

8 競技方法

個人対抗（個人戦）シングルス・ダブルスを行い、いずれもトーナメント戦方式による。
同一都県の選手で準決勝以上が行われる場合、順位決定戦を行うこともある。

9 使用用器具

現行の（公財）日本バドミントン協会検定・審査用器具及び平成28年度第1種検定合格水鳥球とする。

10 参加資格

- (1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校に在学する生徒で、各都県高等学校体育連盟に加盟し、各都県予選会を経て参加資格を得た者に限る。
- (2) 監督・コーチ・マネージャー・選手は、（公財）日本バドミントン協会に申込期限までに平成28年度会員登録を完了した者とする。
- (3) 平成10年4月2日以降に生まれ、1. 2年生に在学するものとする。ただし、出場は同一競技2回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
- (4) 全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
- (5) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
- (6) 転校後6か月未満の者は参加を認めない（外国人留学生もこれに準ずる）。
ただし、一家転住等やむを得ない場合は、当該都県の高等学校体育連盟会長の許可があれば、その限りではない。
- (7) 参加する選手は、予め健康診断を受け、在学する学校長の承認を必要とする。

(8) 参加資格の特例

- ア 上記10(1)、(2)に定める生徒以外で、当該競技要項により本大会参加資格を満たすと判断され、各都県高等学校体育連盟が推薦した生徒について、別途に定める規定に従い大会参加を認める。
- イ 前記10(3)の但し書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、2回限りとする。

(9) 大会参加資格の別途に定める規定

- ア 学校教育法第72条、115条、124条及び134条の学校に在籍し、都県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。
- イ 以下の条件を具備する事。
 - (1) 大会参加資格を認める条件
 - (ア) 関東高等学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
 - (イ) 参加を希望する専修学校及び各種学校にあっては、学齢、修業年限ともに高等学校一致していること。また、連携校の生徒による混成は認めない。
 - (ウ) 各学校にあっては、都県高等学校体育連盟の予選会から出場が認められていること。
 - (エ) 各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失っていない、運営が適切であること。
 - (2) 大会参加に際し守るべき条件
 - (ア) 関東高等学校総合体育大会開催基準要項を遵守し、競技種目大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
 - (イ) 大会参加に際しては、責任ある教員が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて傷害保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。
 - (ウ) 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

11 参加制限

- (1) 参加数の枠は、下記のとおりとする。
 - 神奈川(6) 埼玉(6) 東京(6) 群馬(6) 千葉(4) 茨城(4) 栃木(4) 山梨(4)
- ア ダブルスの編成は、同一校選手による。
- イ 監督は、1名とする(同一校で男女出場する場合は、それぞれに別の監督をつけること)。
- (2) 外国人留学生は、各都県で男・女、各々シングルス1名・ダブルス1組までとする。

12 引率・監督

- (1) 出場選手は必ず引率責任者によって引率される。引率責任者は、選手の全ての行動に対し、責任を負うものとする。
- (2) 引率責任者は、校長の認める学校の職員とする。
- (3) 監督・コーチは校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。ただし、各都県における規定が定められ、引率・監督がこの基準より限定された範囲であれば、その規定に従うことを原則とする。

13 表彰 1位～3位まで表彰する。

14 参加料 1人 1種目 2,100円

15 申し込み

- (1) 参加校は参加申込書を、「群馬県高体連バドミントン専門部HP」からダウンロードし、必要事項を入力したデータを下記事務局へ11月25日(金)までにメール送信すること。また、プリントアウトした大会参加申込書(正・副各1通)に押印し、参加料を添えて各都県委員長に提出すること。

『群馬県高体連バドミントン専門部HP』 <http://www.gunbad.jp/hi/>
『群馬県高体連バドミントン専門部事務局』 itagaki-iwao@staff.gsn.ed.jp

- (2) 各都県委員長は、**12月2日(金)**【必着】までに、都県ごと一括して申し込むこと。
『申し込み先』 〒376-0013 群馬県桐生市広沢町3-4193
県立桐生南高等学校内
群馬県高体連バドミントン専門部 板垣 巖 宛

『参加料振込先』 銀行名 群馬銀行 伊勢崎北支店 (店番156)
口座番号： 普通) 0069619
加入者名： 群馬県高体連バドミントン専門部 原田優樹

- (3) 個人情報の取り扱いに関して
大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。(詳しくは、「関東高等学校体育大会参加における個人情報および肖像権に関わる取り扱いについて」を参照下さい。)

16 組合せ 関東高等学校体育連盟バドミントン専門部が指名した競技役員長(レフェリー)の指示のもと、本専門部役員との間で厳正に執り行う。

17 競技上の注意

- (1) 競技者は、試合のコール後、直ちに指定のコートに集合すること。
ただし、試合が遅れた場合には放送の指示に従うこと。
- (2) 対戦前の練習は各試合とも両校同時に2分間とする。また、シングルスについては、対戦相手と練習をする。
- (3) 試合は流し込みで行う。
- (4) 試合が連続する場合は、**15分以上**のインターバルを与える。
- (5) 写真の『フラッシュ撮影』は禁止する。
- (6) マッチ中の給水を下記の条件付きで認める。
ア 容器は、倒れてもこぼれない蓋付きの容器を使用すること。
イ 主審横の容器入れに入れること。
- (7) クーラーボックスのフロアー内への持ち込みは禁止する。
- (8) 氷嚢の使用は、インターバル中のみとし、使用後は保冷バックに入れること。

18 審判上の注意

- (1) 各試合とも、準決勝以降はサービスジャッジを付ける。その他の試合は原則としてサービスジャッジは付けない。
- (2) マッチ中、シャトルがインプレーでない時のみプレーヤーはコーチシートの者からアドバイスを受けることができる。
- (3) それぞれのゲーム間に120秒を超えないインターバルを、また、ゲーム中どちらかのサイドのスコアが11点になったら60秒を超えないインターバルを認めるが、競技区域に入れる監督・コーチは同時に2名までとする。ただし、主審の「20秒」のコールで競技区域内から離れること。
- (4) 『抗議』や『異議』は一切認めない。その判定に従わない時はその試合を放棄したものとみなす。

19 備考

- (1) 宿泊については別紙『宿泊要項』参照のこと。宿泊場所が決定次第各校に連絡する。
- (2) 開閉会式は行わない。

- (3) 競技時の服装は、色付きの着衣を使用する場合及びシューズは、(公財)日本バドミントン協会の審査合格品とする。
- (4) 上衣の背面中央に必ず、高等学校名及び都県名を日本語で明記し、文字の色は上衣に鮮明に映えるものとする。 【 上段-学校名(やや大きく)、下段-都県名 】
なお、ゼッケンを使用する場合は白の布地で縦15cm横30cmの大きさを基準とする。
- (5) 練習は、12月24日(土)13時から16時まで、『ALSOKぐんまアリーナ』で行うことができる。練習コートは都県別に割り振るので、各校で譲り合って練習すること。大会当日は一巡目の試合のみ試合コートでの練習を行うことができる。
- (6) 来場後は必ず会場内の『受付』で、下記時間内に受付を行うこと。
ア 12月24日(土) 13時から14時30分まで。
イ 12月25日(日)・12月26日(月) 開場から9時まで。
- (7) プログラムは、個人対抗戦シングルス各校1部(ダブルス2部)を無料とする。
- (8) プログラムのミスプリントの訂正については、受付後すぐに所定の用紙を会場内の『受付』に提出すること。
- (9) 競技中の疾病、傷害などの応急処置は主催者が行うが、その後の責任は負わない。
- (10) 飲食物・ゴミ等の後始末は、各校の責任で行うこと。
- (11) 履物は『屋内用』『屋外用』の区別をはっきりすること。
- (12) 会場内のロビー等での練習は禁止する。体育館内の施設・設備に損害を与えた場合には弁償してもらうこともある。